

リオパラリンピック 修理サービス日本人スタッフ

リオ大会には、日本から2名の技術者が派遣され日本語での対応も可能になっています。



月城 慶一氏 プロフィール

資格: 義肢装具士、ドイツ義肢装具マイスター
所属: 常翔学園 広島国際大学 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション支援学科
義肢装具学専攻 教授 [広島県]

リオ滞在期間: 9月7日～9月18日

1998年ヨーロッパ以外で初めて開催された長野冬季パラリンピック大会の修理サービスチームを統率、その後2000年シドニー大会、2004年アテネ大会、2008年北京大会、2012年ロンドン大会でのオットーボック社の修理サービスチームに参加。

「夏季大会としてはアテネ大会の時に初めて日本選手が修理センターを訪ねてきてくれ、日本人技術者がいることにびっくりしていました。それ以来、たくさんの日本選手がセンターを訪問してくれるようになりました。今大会でも選手の皆さんに会えるのを楽しみにしています。」



高橋 俊潤 プロフィール

資格: 義肢装具士
所属: オットーボック・ジャパン(株) アフターセールスサービス マネージャー [東京都]

リオ滞在期間: 8月29日～9月22日

2008年にオットーボック・ジャパン(株)に入社し、義肢事業部のプロダクトスペシャリストの業務をへて、2010年より修理部門へ移動、義足、義手の修理、工作機械類の設置を行う。

「私の業務としては、修理対応ばかりではなく、弊社サービスセンターの機械設備の設営から撤収まで行う予定です。今回が初めての参加になりますが、パラリンピックの舞台裏で選手たちを少しでもサポートできればと思います。また、世界各国から集まってくる選手たち、そして技術者たちと交流する機会も楽しみにしています。」

オットーボック・ジャパン(株) パラリンピック ウェブサイト : <http://www.paralympics.ottobock.jp>
オットーボック・ヘルスケア社 パラリンピック ウェブページ : <http://www.ottobock.com/en/paralympics/>

